

統一新羅土器様式の研究

■目 次■

はじめに .....	1
第Ⅰ章 統一新羅土器の研究動向 .....	5
第1節 研究史 .....	5
1. 「新羅後期様式土器」と「統一様式土器」など用語の検討 .....	5
2. 既存研究の問題点と課題 .....	8
第2節 土器器種の分類 .....	10
1. 蓋 .....	11
2. 高杯 .....	12
3. 楪 .....	13
4. 壺 .....	14
5. 瓶 .....	15
6. 杯 .....	16
7. 皿 .....	17
8. 甕 .....	17
第Ⅱ章 統一新羅土器の変遷 .....	19
第1節 遺跡の概要 .....	19
1. 古墳から出土する資料 .....	19
1) 忠孝洞古墳群      2) 獅山土偶塚      3) 龍江洞古墳	
4) 隆城洞一帯の古墳      5) 神堂里石室墳	
2. 生活遺跡 .....	27
1) 新羅王京 (S1E1 地区)      2) 皇南洞大形建物跡 (123-2 番地)	
3) 皇南洞新羅建物跡 (192-11・12 番地)	
3. 生産遺跡 .....	31
1) 慶州花谷里生産遺跡	
第2節 曆年代資料の整理 .....	33
1. 慶州雁鴨池の建物跡下層出土の地鎮具 .....	33
2. 扶餘定林寺跡の蓮池遺跡出土の土器片 .....	33
3. 山清郡の廃庵室跡出土の印花文壺 .....	35
4. 金泉葛項寺跡、三重石塔出土の舍利容器と印花文土器 .....	35
5. 「元和十年」銘の藏骨器と拌洞三陵出土の藏骨器 .....	35

## 目 次

6. 慶州錫杖洞の東国大区内（707 番地）出土の蔵骨器	36
7. 將島清海鎮遺跡	36
8. 益山弥勒寺跡の東院僧房跡出土土器	36
9. 石神遺跡出土の新羅土器	36
10. 藤原京出土の新羅土器	37
11. 鴻臚館跡出土の新羅土器	37
第3節 土器の分析	38
1. 印花文の分類	38
2. 土器型式の検討	41
1) 蓋の型式分類    2) 高杯の型式分類    3) 梗の型式分類	
4) 壺の型式分類    5) 瓶の型式分類	
3. 蓋と身形式のセット関係	59
第4節 土器の段階設定	60
1. 第1段階	60
1) 第1a期    2) 第1b期	
2. 第2段階	62
1) 第2a期    2) 第2b期    3) 第2c期	
3. 第3段階	64
1) 第3a期    2) 第3b期    3) 第3c期	
4. 第4段階	66
1) 第4a期    2) 第4b期	
5. 第5段階	67
1) 第5a期    2) 第5b期	
第5節 新羅硯の検討	67
1. 砥の出土状況	73
2. 砥資料の活用	80
第Ⅲ章 統一新羅土器の地域性	83
第1節 地域の設定	83
1. 研究略史	83
2. 地域の区分	86
第2節 漢州地域の土器	86
1. 遺跡別資料の検討	88
1) 古墳    2) 生活遺跡    3) 生産遺跡	

2. 土器の分析 .....	94
1) 蓋     2) 高杯     3) 梗     4) 壺	
5) 瓶     6) その他	
3. 漢州地域の土器変遷 .....	101
1) 第1段階     2) 第2段階     3) 第3段階	
4) 第4段階     5) 第5段階	
第3節 尚州地域の土器 .....	106
1. 遺跡別資料の検討 .....	106
2. 土器の分析 .....	110
1) 蓋     2) 高杯     3) 梗     4) 壺	
5) 瓶     6) その他	
3. 尚州地域の土器変遷 .....	116
1) 第1段階     2) 第2段階     3) 第3段階	
4) 第4段階     5) 第5段階	
第4節 他の地域の土器 .....	119
1. 良州と康州地域の土器 .....	119
1) 蔚州華山里古墳群     2) 陜川苧浦里E地区     3) 金海三溪洞窯跡	
2. 朔州・溟州地域の土器 .....	125
1) 洪川駅内里古墳群     2) 原州法泉里一帯の遺跡     3) 三陟沃原里遺跡	
4) 襄陽石城山城	
3. 熊州地域の土器 .....	132
1) 清州栄洞遺跡     2) 清州龍潭洞古墳群	
3) 保寧聖住寺跡     4) 保寧真竹里窯跡	
4. 全州と武州地域の土器 .....	136
1) 鎮安平地里古墳群     2) 光陽馬老山城	
第5節 まとめ .....	140
第IV章 7世紀以降日本出土の新羅土器 .....	143
第1節 研究略史 .....	143
第2節 畿内出土の新羅土器 .....	144
1. 出土傾向 .....	144
1) 摂津     2) 河内     3) 山城     4) 大和	
2. 畿内の新羅土器が出土する遺跡の性格 .....	152
1) 官営施設     2) 寺院     3) 古墳	
4) 生産・生活遺跡	

## 目 次

3. 畿内出土の新羅土器の特性 .....	153
第3節 九州・関東地方の出土現況 .....	156
1. 対馬・壱岐・北部九州地域 .....	156
2. 関東地方 .....	163
3. 北部九州・関東地方の新羅土器が出土する遺跡や土器の特性 .....	166
第4節 日本で出土する新羅土器の時期的な特徴 .....	168
1) 第1段階    2) 第2段階    3) 第3段階	
4) 第4段階    5) 第5段階	
第V章 統一新羅時代の蔵骨器の考察 .....	175
第1節 研究略史 .....	175
第2節 蔵骨器の形態分類 .....	179
第3節 資料の分析 .....	181
1. 最初期の蔵骨器 .....	182
2. 第1型式 .....	183
3. 第2型式 .....	183
4. 第3型式 .....	184
5. 第4型式 .....	185
6. 第5型式 .....	185
7. 第6型式 .....	185
第4節 十二支と蔵骨器 .....	186
第5節 蔵骨器の変化様相 .....	188
1. 蔵骨器のセット関係 .....	188
2. 製作過程の特徴 .....	188
1) 焼成痕    2) 蓋の孔	
3. 年代推定 .....	191
1) 最初期段階    2) 第I段階    3) 第II段階    4) 第III段階	
5) 第IV段階    6) 第V段階	
第6節 まとめ .....	195
おわりに .....	203
あとがき .....	207
引用文献 .....	209